

[遺伝資源の収集・評価・保存]

ジャガイモ品種の特性と収量性

荒木俊光・田邊範子^a・海保富士男・沼尻勝人
(商品開発科)^a現南多摩普及センター

【要約】ジャガイモの皮色が白～黄色系の10品種と、赤～紫系の4品種の特性については、全体的に芽の浅い品種が多く、収量については‘とうや’が最も多く、次いで、‘デジマ、メイクイン’であり、‘男爵、キタアカリ’がそれに続いた。

【目的】

近年、ジャガイモは、多くの品種が栽培されるようになり、地域の品評会でも、多様な品種がみられる。また、ジャガイモを目玉品目している生協等も現れ、食材の脇役から主役へと変化してきている。そこで、東京で導入されつつある品種について、生育特性、収量性を明らかにし、栽培のための資料とする。

【方法】

供試品種は、皮色が白～黄色系の品種10種類、赤～紫系の品種4品種の計14品種である(表1)。沖積土壌の畑で栽培し、基肥は成分量でN-P₂O₅-K₂Oを15-16-18 kg/10aとし、3月24日に条間70cm株間30cmに定植した。芽かきを4月28日に行い、主茎を2本立ちとした。5月8日に土寄せを行い、6月29日に収穫調査した。

【成果の概要】

- 1) 5月は雨天が多かったためか、主茎は長く伸び、1m以上になるものが多かった。‘とうや’は、最も主茎が短く、しっかりしていた。皮色は、‘ジャガキッズパープル’が最も濃く、紫色であった。肉色は、‘インカのめざめ’が最も濃く、黄色であった。芽の深さは、‘男爵’が最も深かったが、全体的には、浅い品種がほとんどであった。
- 2) 収量は、‘とうや’が最も多く、L以上の割合が高かった。次いで、‘デジマ’‘メイクイン’で、‘男爵、キタアカリ’がそれに続いた。最も、収量が低かったのは‘ユキラシャ’で、出芽が遅く、茎葉の枯れ上がりが早かった。
- 3) 肉質については、粉質に分類されるのが、‘男爵、キタアカリ、十勝コガネ、ベニアカリ、チェルシー’で、粘質に分類されるのが‘メイクイン、インカのめざめ、ホッカイコガネ’で、他の品種は、その中間であった。

表1 ジャガイモ品種の特性と収量

品種	皮色	肉色	芽の深さ	主茎長 cm	L 250~180g			M 180~130g			S 130~80g		
					個数	重さ g	平均重 g	個数	重さ g	平均重 g	個数 ^a	重さ g	平均重 g
1 とうや	黄	黄	浅	79	19	4200	221	24	3250	135	27	2800	104
2 デジマ	淡黄	淡黄	中	134	7	1400	200	25	3500	140	22	2100	95
3 メーカーイン	淡黄	淡黄	浅	147	7	1500	214	13	2000	154	35	3350	96
4 男爵	淡白黄	白	やや深	87	10	2100	210	19	3100	163	14	1500	107
5 キタアカリ	淡黄	黄	やや浅	100	8	1600	200	15	2000	133	28	3000	107
6 インカのめざめ	黄	濃黄	やや浅	101	10	1900	190	19	2800	147	18	1800	100
7 ホッカイコガネ	黄	淡黄	浅	140	5	1000	200	8	600	75	23	2400	104
8 チェルシー	淡白黄	白	浅	147	2	370	185	10	1300	130	16	1550	97
9 十勝コガネ	淡黄	淡黄	浅	119	4	650	163	8	1000	125	13	1000	77
10 ユキラシャ	淡白黄	白	浅	107	0	0	—	1	150	150	2	210	105
11 アンデス赤	赤	黄	やや浅	164	2	400	200	21	2600	124	15	1500	100
12 ジャガキッズレッド	赤	黄	やや浅	153	5	900	180	8	1000	125	23	2000	87
13 ジャガキッズパープル	黄	中	中	166	4	870	218	6	950	158	16	1500	94
14 ベニアカリ	淡赤	白	やや浅	130	2	400	200	7	900	129	21	1800	86

品種	規格外 大 250g以上			規格外 小 80g以下			虫害・腐り		株当り収量		10a当り 収量
	個数	重さ g	平均重 g	個数	重さ g	平均重 g	個数	重さ g	個数	重さ g	重さ g
1 とうや	9	2900	322	65	2250	35	0	0	13.1	1,400	6.58
2 デジマ	2	600	300	86	3150	37	0	0	12.9	977	4.59
3 メーカーイン	4	1800	450	46	1800	39	0	0	9.5	950	4.47
4 男爵	6	1800	300	22	1100	50	0	0	6.5	873	4.10
5 キタアカリ	0	0	—	60	2900	48	0	0	10.1	864	4.06
6 インカのめざめ	0	0	—	70	2500	36	0	0	10.6	818	3.85
7 ホッカイコガネ	2	1200	600	50	1800	36	0	0	8.0	636	2.99
8 チェルシー	0	0	—	89	3500	39	0	0	10.6	611	2.87
9 十勝コガネ	0	0	—	46	1800	39	0	0	6.5	405	1.90
10 ユキラシャ	0	0	—	44	700	16	0	0	4.3	96	0.45
11 アンデス赤	0	0	—	113	3600	32	0	0	13.7	736	3.46
12 ジャガキッズレッド	0	0	—	81	2500	31	0	0	10.6	582	2.73
13 ジャガキッズパープル	0	0	—	63	2400	38	0	0	8.1	520	2.44
14 ベニアカリ	1	300	300	36	1500	42	0	0	6.1	445	2.09

a)主茎長は10株の平均、個数、重さは11株の合計、10g以下のものは調査対象外とした。



図1 各品種の外観